

「秋田県」誕生150年記念

地域の歴史的写真展

この写真展は、令和3年の秋田県誕生150年を記念し、県内各地域の歴史的な写真などを展示するものです。

この節目を機に、県民の皆様一人ひとりが先人の歩みを見つめ直し、未来への思いを新たにしていただければ幸いです。

令和3年8月29日掲載 秋田魁新報特集記事

このパネルは、秋田県誕生150年を記念し、「県の記念日」である8月29日に秋田魁新報に掲載された特集記事をパネル化したものです。



国宝(工芸品)(1件)		
昭和28.11.14	線刻千手観音等鏡像	大仙市
重要有形民俗文化財(6件)		
昭和35.6.9	八郎瀧湯用具	湯上市
昭和39.8.29	田沢湖のまるきふね	仙北市
昭和39.5.29	大沼の箱形くりふね(きつつ)	秋田市
昭和40.6.9	男鹿のまるきふね	男鹿市
昭和41.6.11	作業用覆面コレクション	秋田市
平成25.3.12	阿仁マタギの狩猟用具	北秋田市
重要無形民俗文化財(17件)		
昭和51.5.4	大日堂舞楽*	鹿角市
昭和52.5.17	保呂羽山の霜月神楽	横手市
昭和53.5.22	男鹿のナマハグ*	男鹿市
昭和55.1.28	秋田の平灯	秋田市
昭和56.1.21	西馬音内の盆踊	羽後町
昭和57.1.14	六郷のカマクラ行事	美郷町
昭和59.1.21	刈野の大綱引き	大仙市
昭和61.1.14	東湖八坂神社祭のトウニン(続人)行事	湯上市、男鹿市
平成3.2.21	角館祭りのやま行事*	仙北市
平成9.12.15	土崎神社祭の曳山行事*	秋田市
平成10.12.16	毛馬内の盆踊	鹿角市
平成10.12.16	上郷の小正月行事	にかほ市
平成16.2.6	根子音楽	北秋田市
平成16.2.6	小池のチョウクラ口舞	にかほ市
平成21.3.11	秋田のイタヤ製菓技術	秋田市、仙北市
平成23.3.9	本海獅子舞音楽	由利本荘市
平成26.3.10	花輪祭の屋台行事*	鹿角市

重要無形民俗文化財 全国最多の17件

重要文化財(有形文化財)		
■ 建造物(27件)		
明治41.4.23	古四王神社本殿	大仙市
昭和27.11.22	神明社観音堂	湯上市
昭和29.3.20	三輪神社【本殿・境内社須賀神社本殿】	羽後町
昭和40.5.29	旧奈良家住宅	秋田市
昭和42.6.15	赤神社五社堂(中央堂)内厨子	男鹿市
昭和48.2.23	峰崎家住宅【主屋・北米蔵】	秋田市
昭和48.2.23	大山家住宅	三穂町
昭和48.2.23	土田家住宅	由利本荘市
昭和48.2.23	鈴木家住宅【主屋・土蔵】	羽後町
昭和50.6.23	草野家住宅【主屋・土蔵】	仙北市
昭和55.1.16	波字監別神社神楽殿	横手市
平成1.5.19	旧黒澤家住宅【主屋・表門・土蔵・米蔵・木小屋】	秋田市
平成2.3.19	天徳寺【本堂・書院・山門・経門】	秋田市
平成2.3.19	佐竹家書庫	秋田市
平成2.3.19	八幡神社【正八幡宮本殿・若宮八幡宮本殿】	大館市
平成2.3.19	赤神権現堂・八王子堂・十徳講堂	男鹿市
平成2.3.19	旧阿仁監山外国人宿舎	北秋田市
平成5.8.17	藤倉水源地水道施設	秋田市
平成6.12.27	旧秋田銀行本店本館	秋田市
平成14.5.23	康楽館	小坂町
平成14.5.23	旧小坂監山事務所	小坂町
平成18.12.19	三浦家住宅【主屋・米蔵・文庫蔵・味噌蔵・土蔵・馬小屋・表門・鎮守社】	秋田市
平成20.12.2	金家住宅【洋館・和館・文庫蔵・米蔵】	北秋田市
平成20.12.2	小玉家住宅【主屋・文庫蔵・米蔵・庫裏】	湯上市
平成29.2.23	佐藤家住宅【主屋・文庫蔵】	横手市
平成29.2.23	旧松崎家住宅【主屋・座敷・米蔵】	横手市
平成29.11.28	旧池田家住宅洋館	大仙市
■ 絵画(4件)		
大正12.3.28	絹本着色当麻琴茶圖	大仙市
昭和43.4.25	絹本着色池田池田(小野直武筆)	横手市
平成11.6.7	絹本着色唐大花高鳥(小野直武筆)	横手市
平成15.5.29	絹本着色松田鹿島(佐竹蘭山筆)	横手市
■ 彫刻(1件)		
昭和48.6.6	銅造阿弥如来坐像	秋田市
■ 工芸品(1件)		
平成6.6.28	銅鑄杖頭(正元元年、信阿弥陀仏の刻銘あり)	横手市
■ 書籍・典籍(1件)		
昭和34.6.27	因幡権守重隆家歌(巻頭)	秋田市
■ 考古資料(3件)		
昭和53.6.15	人面付環状土口土器(湯上市で出土)	秋田市
昭和63.6.6	磨製石斧(東成瀬村で出土)	北秋田市
平成21.7.10	秋田県神楽道跡出土品	秋田市
■ 歴史資料(1件)		
平成3.6.21	菅江真澄遊覧記(明徳館蔵自筆本)	秋田市



特別史跡(1件)		
昭和31.7.19	大瀧環状列石	鹿角市
名勝(5件)		
昭和7.3.25	赤倉の白瀧谷	にかほ市
昭和50.2.18	橋本内川堤(ツクラ)	仙北市
昭和55.2.27	旧池田氏庭園	大仙市
平成19.2.6	旧秋田藩主佐竹氏別邸(如野亭)庭園	秋田市
平成26.3.18	おくのほそ道の風見地 三崎(大崎崎)、象潟及び汐越	にかほ市

特別名勝及び天然記念物(1件)		
昭和27.3.29	十和田湖および奥入瀬渓流	小坂町、青森県十和田市

特別天然記念物(2件)		
昭和27.3.29	玉川瀧泉の北投石	仙北市
昭和30.2.15	カモンカ	秋田県ほか27都府県

重要伝統的建造物群保存地区(2地区)		
昭和51.9.4	仙北市角館伝統的建造物群保存地区	
平成25.12.27	横手市増田伝統的建造物群保存地区	

【注】この表は、秋田県ホームページ中の「県の重要文化財等件数一覧」から、国指定のものを抽出し作成(左記除く)。重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財とは異なる。指定年月日、名称、所在地の順に掲載。文化財などの名称表記は上記の一覧に従った。

廃置置棄後の道程 県報などで回顧 県立図書館が企画展

県立図書館(秋田市山王、県立図書館)は、秋田県誕生150年記念事業として「廃置置棄150年 公文書でみる秋田の歴史」を開催しています。秋田の歴史を、この1世紀半の大きな出来事について、所蔵している関連公文書と併せて振り返ることが出来ます。前後期の2期間で、前期は9月21日まで(後期は10月28日～11月30日)。展示しているのは歴史知事50人の肖像と、県報をはじめとした公文書のパネルや原本など約80点。感染症の流行や自然災害など現代にも通じる課題にどう対処してきたか、公文書からうかがえます。入場無料。開館午前10時～午後5時。水曜休館。問い合わせは県立図書館 ☎018・866・8301

サキホコレ

歴代秋田県知事(後時期)		
1	島 義 勇	明治4.12.26(生誕1872.2.4)
2	杉 孫七郎	明治5.7.20(生誕1872.8.23)
3	司 仙 吉	明治6(1873).5.18
4	石 田 英 吉	明治8(1875).5.19
5	赤 川 勉 助	明治16(1883).3.8
6	青 山 真 一	明治19(1886).2.25
7	若 岡 小 二 郎	明治22(1889).12.26
8	藤 木 大 亮	明治23(1890).3.25
9	広 瀬 建 一	明治25(1892).3.3
10	平 山 篤 彦	明治25(1892).8.20
11	岩 野 三 郎	明治29(1896).9.28
12	武 田 千 代 郎	明治32(1899).4.7
13	志 波 三 九 郎	明治35(1902).2.8
14	橋 本 一 郎	明治36(1903).6.29
15	岡 廣 七 郎	明治37(1904).11.17
16	池 田 秀 雄	明治38(1905).12.31
17	清 野 長 太郎	明治39(1906).1.17
18	下 岡 忠 治	明治39(1906).11.26
19	森 重 雄	明治41(1908).10.9
20	藤 本 三 郎	明治45(1912).3.28
21	藤 本 三 郎	大正3(1914).4.28
22	小 島 源 三 郎	大正5(1916).4.28
23	川 口 彦 治	大正6(1917).1.29
24	名 尾 良 辰 一	大正8(1919).4.18
25	岸 本 正 雄	大正11(1922).10.16
26	池 田 秀 雄	大正13(1924).6.28
27	長 野 幹 一	大正13(1924).12.1
28	中 野 邦 一	大正15(1926).9.28
29	力 石 雄 一 郎	昭和2(1927).5.17
30	藤 沼 隆 三	昭和3(1928).2.28
31	藤 沼 隆 三	昭和4(1929).7.5
32	藤 沼 隆 三	昭和5(1930).6.7
33	内 田 隆 雄	昭和6(1931).12.18
34	武 部 六 蔵	昭和7(1932).6.28
35	児 玉 政 介	昭和10(1935).1.15
36	本 間 精 一	昭和12(1937).2.12
37	佐々木 秀 通	昭和13(1938).6.24
38	岡 田 幸 男	昭和14(1939).1.11
39	岩 上 夫 美 雄	昭和15(1940).7.24
40	長 船 克 巳	昭和18(1943).7.1
41	久 安 博 忠	昭和19(1944).8.1
42	池 田 三 郎	昭和20(1945).10.27
43	藤 本 三 郎	昭和21(1946).1.25
44	藤 本 三 郎	昭和21(1946).7.9
45	渡 辺 瑞 光	昭和22(1947).3.11
46	藤 本 三 郎	昭和22(1947).4.12
47	池 田 三 郎	昭和26(1951).4.30
48~53	小 畑 勇 二 郎	昭和30(1955).4.30
54~58	佐々木 喜 久 治	昭和54(1979).4.30
59~61	寺 田 典 成	平成9(1997).4.20
62~65	佐 竹 敬 久	平成21(2009).4.20

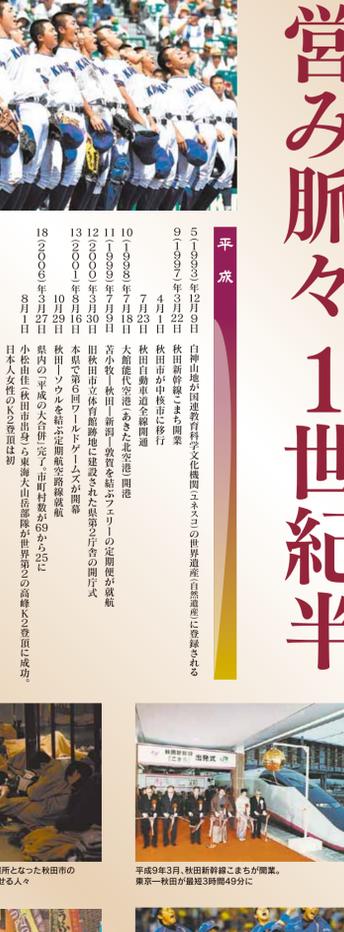
今 和

元々1999年7月7日 本県で第1回全国国産酒造り大会が開催。大宮皇居前地下駅開業。10月11日 国交省が「国土交通省及び国土形成政策本部」を新設。10月17日 県内で初めて新型コロナウイルス感染症発生。6月15日 新型コロナウイルス感染症発生。9月16日 自民党の野田聖子氏が衆議院議員選挙で落選。11月17日 第9代代官に任命された。11月31日 県が「秋田県立総合文化センター」を開設。2020年7月31日 県が「秋田県立総合文化センター」を開設。2020年7月31日 県が「秋田県立総合文化センター」を開設。

平 成

51993年12月9日 白神山地が国定公園に指定。51997年3月9日 秋田県立総合文化センターが開設。91997年7月23日 秋田県立総合文化センターが開設。101998年7月18日 大館代官に任命された。111999年7月18日 大館代官に任命された。122000年7月30日 秋田県立総合文化センターが開設。132000年8月16日 秋田県立総合文化センターが開設。182006年8月27日 秋田県立総合文化センターが開設。192007年9月5日 秋田県立総合文化センターが開設。202008年9月25日 秋田県立総合文化センターが開設。212009年9月15日 秋田県立総合文化センターが開設。222010年12月15日 秋田県立総合文化センターが開設。232011年3月11日 秋田県立総合文化センターが開設。242013年10月13日 秋田県立総合文化センターが開設。252014年10月13日 秋田県立総合文化センターが開設。262015年5月30日 秋田県立総合文化センターが開設。272015年5月30日 秋田県立総合文化センターが開設。282016年10月23日 秋田県立総合文化センターが開設。292017年4月23日 秋田県立総合文化センターが開設。302018年8月21日 秋田県立総合文化センターが開設。

営み脈々 1世紀半



このパネルは、秋田県誕生150年を記念し、「県の記念日」である8月29日に秋田魁新報に掲載された特集記事をパネル化したものです。

顕彰年月日	氏名(出身地)	功績
昭和56(1981).3.25	小畑 勇二郎(大館市)	知事として地方自治の発展に貢献
平成元(1989).9.25	山崎 賢一(静岡県)	東京電気化学工業(現在のTDK)の社長として本県産業の発展に尽力
平成5(1993).9.30	日沼 頼夫(八幡町)	国際的に評価されたがんウイルス研究などの優れた業績
平成18(2006).12.20	明石 康(大館市)	国連を代表しカンボジア平和維持活動を成功させるなど国際平和に貢献
	遠藤 章(由利本荘市)	高コレステロール血症治療薬「スタチン」の開発に貢献

顕彰年月日	氏名(出身地)	個人の経歴	功績
昭和62(1987).1.29	落合 博満(男鹿市)	野球選手	プロ野球選手三冠王3回
昭和63(1988).11.2	太田 章(秋田市)	レスリング選手	1984ロサンゼルス、88ソウル五輪フリースタイル90kg級金メダル
	佐藤 満(八郎潟町)	レスリング選手	1988ソウル五輪フリースタイル52kg級金メダル
	石井 敏(東京都)	音楽家	【大いなる秋田】作曲(父の舞踏家・演は三浦野島)
平成元(1989).8.29	佐藤 菊夫(秋田市)	音楽家	音楽監督、指揮者
	山田 久志(能代市)	野球選手	プロ通算284勝
平成5(1993).9.29	浅利 純子(秋田市)	マラソン選手	世界陸上優勝
平成11(1999).2.25	能代工業高校バスケットボール部		3年連続全国3冠、全国優勝50回達成
平成16(2004).11.2	高橋 勇市(横手市)	マラソン選手	2004アテネパラリンピック(視覚障害1)金メダル
平成18(2006).10.20	小松 由佳(秋田市)	登山家	日本人女性初のK2登頂成功
平成19(2007).11.30	TDK硬式野球部		都市対抗野球大会優勝
平成21(2009).3.30	能代国民体育大会秋田県選手団		本県初の天皇杯(男女総合優勝)・皇后杯(女子総合優勝)獲得
平成24(2012).9.7	小林 祐仁(北秋田市)	スキー選手	ノルディック世界選手権 複合団体優勝
平成24(2012).9.7	滝 祐介(北秋田市)	スキー選手	スキー選手 複合団体優勝
平成24(2012).9.7	五十嵐 俊幸(由利本荘市)	ボクシング選手	WBC世界フライ級王者
平成25(2013).6.3	江崎 幸子(秋田市)	バレーボール選手	2012ロンドン五輪銅メダル
平成25(2013).6.3	三浦 隆司(三浦町)	ボクシング選手	WBC世界スーパーフェザー級王者
平成28(2016).8.16	豪風 旭(北秋田市)	大相撲力士	黒出力士の幕内最多勝利
平成30(2018).1.30	米元 小春(北都銀行)	バドミントン選手	スーパーシリーズ・ファイナル ダブルス優勝
平成30(2018).1.30	田中 志穂(北都銀行)	バドミントン選手	スーパーシリーズ・ファイナル ダブルス優勝
平成30(2018).10.2	永原 和可那(北都銀行)	バドミントン選手	世界選手権ダブルス優勝
平成30(2018).11.28	松本 麻佑(北都銀行)	バドミントン選手	世界選手権ダブルス優勝
	金足農業高校野球部		全国高校野球選手権準優勝

秋田県誕生150年

顕彰制度

秋田県は、各分野で顕著な功績を残した県民の個人や団体をたたえる顕彰制度を設けています。主な制度として二つがあり、一つは「名誉県民」です。「県民が誇りとし、敬愛する方」が対象で、これまでに、昭和30年から6期知事を務めた小畑勇二郎氏(故人)を皮切りに、産業振興、医療関係の研究、国際平和の各分野で尽力した5人が顕彰されています。

もう一つは「県民栄誉賞」です。「社会に明るい希望を与え、ともに秋田県の名を高めた者」を対象としており、これまでに個人19人と4団体が顕彰されています。最初の受賞者は、プロ野球のロッテで3度おたり打撃の三冠王に輝いた若菜野(現現男鹿市)出身の落合博満氏でした。



それ以降もスポーツ分野で活躍した個人、団体が多く選ばれています。団体が初受賞となったのは、能代工業高校(現在の能代科学技術高校) バスケットボール部。平成8～10年と3年続けてインターハイ、国体、選抜の全国3大会を制し、学校としての全国優勝が50回に達したことが受賞の理由となりました。

直近では、平成30年の第100回全国高校野球選手権(夏の甲子園)で準優勝した金足農業高校野球部が受賞しています。これからは、スポーツに限らず、さまざまな分野で県民を勇気づけてくれる「県民栄誉賞候補」が多く現れることを期待したいですね。



家計調査にみる秋田市の品目別購入額(平成30年～令和2年の3年平均)

※調査地は道府県庁所在地と指定都市等(計52)対比は2人以上の世帯
※順位は○が購入額が多い方から順位、●が購入額が少ない方から順位

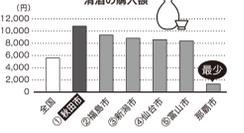
大分類	品目	順位	秋田市	全国平均
穀類	食パン	①	6,918	9,860
	乾うどん・そば	②	3,409	2,263
	小麦粉	③	477	650
魚介類	カレイ	②	2,285	937
	塩サケ	②	4,433	2,185
乳卵類	タラコ	③	1,257	875
	牛乳	⑥	12,841	15,340
生鮮野菜	キャベツ	③	3,427	3,006
	ホウレンソウ	③	3,156	2,084
	他の葉菜類(セリ、ワラビ、ジュンサイなど)	①	10,406	6,807
	他の根菜類(カブ、長芋、ニンニクなど)	②	4,287	3,505
	サヤマメ(サヤインゲン、エダマメなど)	②	4,222	2,002
	ナス	②	2,895	2,059
	生シイタケ	③	2,333	1,994
	シメジ	③	1,817	1,846
	他のキノコ(ナメコ、ヒラタケ、マイタケなど)	①	4,339	2,522
	乾燥・海産・大豆加工食品等	①	1,817	1,036
果物	メロン	⑧	1,862	984
	みそ	②	2,964	2,223
油脂・調味料	ドレッシング	①	1,642	2,222
	カステラ	①	436	781
菓子類	スナック菓子	⑥	3,779	4,906
	キャンデー	⑥	1,882	2,262
	チョコレート菓子	⑥	1,228	1,757
調理食品	他の菓子(かりんとう、落花生、甘納豆など)	①	26,737	21,087
	おにぎり・その他	⑥	3,569	4,633
	天ぷら・フライ	⑥	9,192	11,232
酒類	ギョーザ	①	1,527	2,095
	清酒	①	10,815	5,586
外食	ビール	②	13,900	10,964
	和食	⑥	13,629	21,324
	ハンバーガー	⑥	2,973	4,592
	喫茶代	⑥	3,561	6,705

秋田県誕生150年

家計調査から

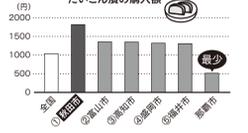
総務省は毎年、秋田市を含む道府県庁所在地や政令指定都市など52都市の2人以上世帯を対象に、さまざまな商品とだけ支出した金額を調査する家計調査を行っており、その一環として品目別に平成30年～令和2年の3年平均について、年間平均購入額のランキングが公表されています。

ここでは品目に絞って、秋田市で購入額が多い方から少ない方からそれぞれ3番目以内の順位に位置している品目のいくつかを挙げてみました。県外の広い秋田県では地域によって多様な食文化が育まれており、秋田県での購入動向が全国に共通しているとは言いきれませんが、長い年月をかけて培われてきた食の歴史の一端を示す指標として紹介いたします。



●薄造しない? パン食
穀類ではパンの購入額の少なさが目を引きます。食パンが最少で、他のパン(あんパン、メロンパン、カレーパンなど)も少ない方から3番目。コメの購入額が多い方から、こちらも少ない方から5番目。コメを買わずともすむ人が一定程度いることがうかがえます。また、乾うどん・そばの購入額が全国で2番目に多いことも注目されます。雑穀うどんを贈答用として買い求める人が多いためかもしれません。

●キノコと、だいこん漬
生鮮野菜のうち、面白いのがキノコ。シメジが少ない方から3番目の順位に、生シイタケが多い方から3番目。汁ものや鍋物によく使われるナメコ、ヒラタケ、マイタケなど「他のキノコ」は最多です。また、コンニャク、漬物、つくばねなど「他の野菜や海藻の加工品」のうち、だいこん漬の購入額がトップ。秋田

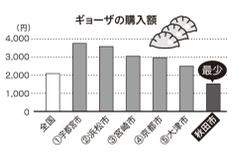
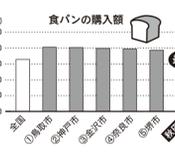


でよく売れているだいこん漬と書けば、いりやがっことを思い浮かべる人も多いのではないのでしょうか。

●洋菓子よりお茶漬け?
菓子類を見ると、カステラやチョコレート菓子の購入額が全国で最も少ない一方で、かりんとうや落花生、甘納豆など「他の菓子」は最多。昔からお茶漬けとして親しまれてきたお菓子の購入額が、人気が高いようです。

●中食・外食もいければ…
弁当や惣菜、冷凍食品やレトルト食品などを合わせた調理食品は、秋田市では総じて購入額が少ない傾向にあります。宇都宮市と浜松市が最も多い。秋田市の購入額は全国で最少。ライフスタイルの多様化によって、調理済み食品を持ち帰って食べる「中食」が浸透している中、秋田市では家で素材から調理して食べるという意識が強いといえます。外食に費やす金額も少なく、和食やハンバーガーの購入額は2番目に少ないことが分かりました。喫茶代も少ない方から3番目です。

●「お酒好き」本音だった
最後に、酒類について。清酒の購入額は52都市で唯一の1万円を超えて、ビールも札幌市に次いで2番目。焼酎、ウイスキー、ワイン、それに「チューハイ・カクテル」も全国で10番目以内の順位に位置し、酒類全体の購入額は全国最多でした。県外の人が持ち帰る「秋田県産のお酒好き」というイメージを裏付けるような結果となっています。



秋田県誕生150年

秋田県ひと口メモ

山・川・湖

秋田県のイメージを問われた場合、出身が県内か県外かを問わず、「自然が豊か」と答える人は多いのではないのでしょうか。昭和の人気作家、石坂洋次郎が昭和61(1986)年秋に、教師として住んだことのある横手市を舞台に「山と川のある町」を題に出しました。横手市だけでなく、秋田県には多くの山と川があり、地元住民に親しまれています。

国土地理院などのデータによると、秋田・山形両県にまたがる鳥海山の標高は2236m。秋田県民歌に登場するほか、県内の学校の校歌や市町村歌にもよく歌われています。県内では「ちよかいざん」と呼ぶことが多いですが、山形県側では「ちよかいざん」と呼ぶことが多く、国土地理院も「日本の主な山岳標高」を紹介するホームページでは、「ちよかいざん」と振りが併記されています。

国土地理院はまた、湖沼についても面積や深さなどの調査結果を公表しており、県内では十和田湖、田沢湖、八郎湖調整池について記載があります。このうち田沢湖の深さは423.4mで、「日本一深い湖」として知られています。

河川に関しては、県内河川総数の「河川表」に詳しく記されています。例えば雄物川水系では、雄物川を幹川として支川や小支川、ごく小さな「かたな川」までを含めた河川数は173に上り、流域

県内の主な山岳

山名(山頂名)	所在	標高(m)
鳥海山(峯山)	出羽山地	2,236
駒ヶ岳(男女岳=おなめだけ)	奥羽山脈北部	1,637
栗駒山	奥羽山脈中部	1,626
八幡平	奥羽山脈北部	1,613
八幡平(備前ヶ原=ついで)	奥羽山脈北部	1,578
大湯岳	奥羽山脈北部	1,541
鳥帽子岳(乳頭山)	奥羽山脈北部	1,478
森吉山	奥羽山脈北部	1,454
相賀岳	奥羽山脈中部	1,439
虎毛山	奥羽山脈中部	1,433

県内の河川3水系

幹川	流域延長(km)	主な支川	流域延長(km)
雄物川	129,800	岩見川	39,382
		荒川	34,691
		玉川	103,117
		横手川	43,767
		曹田川	44,164
米代川	110,181	阿仁川	62,400
		小瀬川	30,309
子吉川	60,800	大瀬川	30,327
		芋川	44,300
		石沢川	69,600

県内の湖沼

湖沼名	面積(平方m)	深さ(m)
十和田湖	61.10	326.8
田沢湖	25.75	423.4
八郎湖調整池	27.75	11.3

秋田県誕生150年

秋田県ひと口メモ

気温、雨、風

秋田県内で記録された気象データにはさまざまなものがあります。秋田地方気象台の今年8月20日までの観測データから、気温、雨、風に関して、3位までの値を拾ってみました。

観測値	観測日	観測地点
日最高気温(高い順、度)		
① 39.1	昭和53年 8月 3日	能代
② 38.6	平成30年 8月23日	横手
③ 38.6	令和 3年 8月 7日	鷹巣
日最低気温(低い順、度)		
① -24.6	昭和63年 2月 5日	秋田
② -22.4	昭和52年 1月27日	鹿角
③ -20.2	昭和 4年 2月 2日	秋田
日降水量(多い順、mm)		
① 293	平成25年 8月 9日	鹿角
② 278	平成25年 8月 9日	雄雄
③ 92	平成 7年 8月26日	横手
日1時間降水量(多い順、mm)		
① 108.5	平成25年 8月 9日	鹿角
② 88	平成25年 8月 9日	雄雄
③ 82	平成 7年 8月26日	保良別山
日最大瞬間風速(強い順、m/s)		
① 51.4	平成 3年 9月28日	秋田
② 42.7	昭和29年 9月26日	秋田
③ 42.4	令和 3年 1月 7日	八森

秋田県誕生150年

秋田県ひと口メモ

4年制大学

秋田県の高専教育を担う大学は、平成の時代に入って幅が広がりました。それぞれに特色ある教育と研究活動の実践を目指しつつ、学生のキャリア形成やキャンパスライフの充実に向けたサポートに努めています。県内に7つある4年制大学の開学年を紹介いたします。

大学名	所在地	開学年
秋田大学	秋田市	昭和24年
ノースアジア大学	秋田市	昭和39年
※平成19年に秋田経済法科大学から名称変更		
秋田県立大学	秋田市	平成11年
国際教養大学	秋田市	平成16年
秋田看護福祉大学	大館市	平成17年
※秋田保健福祉大(平成28年開学)を改称転移		
日本赤十字 秋田看護大学	秋田市	平成21年
秋田公立英育大学	秋田市	平成26年
※秋田公立英育大(平成27年開学)を4年制化		